



市川市立妙典中学校だより 12月号

息吹 05



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ~明るく・正しく・美しく~

〇ふれあいを大切にする生徒 〇進んで学ぶ生徒 〇頑張り抜く生徒 令和5年12月15日

〔 表題「息吹」は、妙典中学校歌、2番の歌詞「♪～世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん～♪」から付けました。「05」は令和5年度を表しています。生きる力を身に付け、未来を拓く妙典中学生の育成を目指します。 〕

ご存じのとおり、12月は「師走（しわす）」と呼ばれます。「師走」の由来には、師匠のような普段落ちついている人でも、この月は多忙で走り回るようになるということから名付けられたという説があります。今年も残すところ、半月余り。皆さん、どのように過ごしているのでしょうか。

ぜひ、心を落ちつかせて、この2学期、そしてこの1年を振り返ってみてください。

まだ夏の暑さが残る中、スタートした2学期。1、2年生は部活動や委員会活動の中心となり、3年生は進路選択・決定に向けての活動が本格的になりました。学校行事も様々あり「師走」並みの忙しさだったかもしれませんが、仲間とともに協力し、充実した取組を行うことができたのではないのでしょうか。もちろん、失敗したことがあった人、後悔が残った人もいると思います。12月は「除月（じょげつ）」とも言われます。「除」という漢字には、払い除（のぞ）くという意味があります。よって、「除月」は、古い年を払い除く月。失敗や後悔があった人はしっかりと反省した上で、古い年をリセットして、新しい気持ちで新年を迎えてほしいと思います。

12月には他にもいろいろな別称があり、「春待月（はるまちづき）」とも言われます。春への期待が込められた意味でこう呼ばれるとのこと。

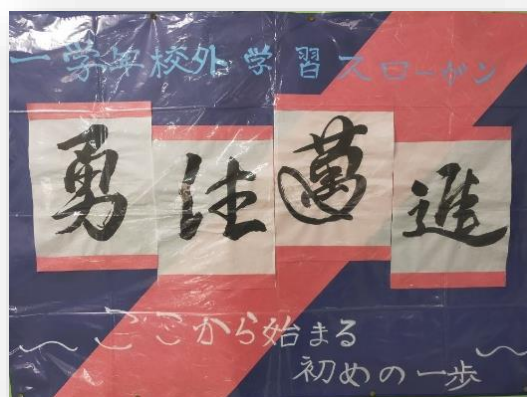
3年生にとっては進路決定に向けた、気の抜けない冬休みとなりますが、自分自身の素敵な春を思い描きながら、頑張ってください。教職員一同、応援しています。

これからが冬本番。妙典中生一人一人が、寒さにも負けず、健康で充実した冬休みを過ごし、よい新年を迎えられることを願っています。

1年校外学習（東京下町方面）

11月30日（木）に、1年生が校外学習に行ってきました。行先は江戸の歴史・文化が息づく東京下町。浅草・上野には、風神・雷神の雷門で有名な浅草寺をはじめ、東京スカイツリーや国立科学博物館、上野動物園など、歴史や文化を実感することができる建造物や文化財が数多くあり、校外学習には絶好の場所です。

生徒たちは、下町に流れるゆったりとした時間の中で、江戸っ子の人情も感じる事ができたようです。「勇往邁進（恐れずに、自分の目的・目標に向かって前進すること）」のスローガンのとおり、校外学習での学びを、今後の学校生活や来年の校外学習につなげてほしいと思います。



第3回学校運営協議会



12月12日（火）に、学校運営協議会が開催されました。本協議会は「地域の方や保護者等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより保護者や地域の声を学校運営に生かす」ために行われるものです。

第3回目の今回は、校長より学校の現状と本校の特色ある取組について説明し、各委員よりご意見をいただいた後、教職員の任用について協議していただきました。校長からは「千葉県全体も本校も、教職員の年齢構成の分布は『砂時計型』になっていること」、「本校の教職員は50%弱が30代であり、子育てが重なっているなど、家庭との両立が課題となっていること」をお話ししました。

協議の結果、「教頭2名体制の維持」、「担任や部活動顧問を引き受けられる教職員の配置」「学校運営の中核を担う教職員の配置」などの意見がまとめられました。第4回は令和6年2月22日（木）に開催する予定です。



地域交流・ボランティア活動

コロナが落ち着き、地域の行事が復活して、ボランティア活動の募集も盛んになってきました。妙典中生も「少年野球開会式演奏（吹奏楽部）」や「地域ボランティア（希望者）」など、地域の活動に参加しています。



参加した生徒たちに感想を聞くと、「いい勉強になった」「楽しかった」「大変だけどやりがいがあった」「大人の手伝いできてうれしかった」「人のために働く喜びを感じた」と、生き生きと語ってくれました。また、部活動顧問からは「校内では経験できないことを経験することができ、生徒の学びにつながった」との報告がありました。

国際比較調査より、日本の若者の自己肯定感や自己存在感の低さが課題であると言われていますが、この課題に対して、地域交流やボランティア活動が非常に有効であると感じています。

インターネット・スマホの普及をはじめ、経済・社会・生活のあらゆる場面で情報化が進展し、多くのことがインターネット上で行えたり、バーチャル（仮想）空間で疑似体験ができたりするようになりました。大変便利な反面、直接的な人とのつながりやコミュニケーションの体験が乏しくなっており、地域・社会での自分の役割や存在感をつかみづらくなっているのだと思います。

今後も、地域の行事に参加した生徒や教職員の声や様子を、皆様に発信していくことで、地域と学校とのつながりをさらに深め、学校が保護者・地域の皆様と連携して子どもたちを育てていけるよう取り組んでまいります。

みのり学級 合同学習発表会



12月2日（土）に、「合同学習発表会」（南部地区）が、行徳文化ホールⅠ&Ⅰで開催されました。この発表会は、市川市内の小・中学校知的特別支援学級の児童・生徒が、日々の学校生活で積み重ねてきた学習の成果を、多くの方々に見ていただくという目的で行われています（市内31校にある知的特別支援学級のうち、妙典中を含めた12校の小中学校が南部地区です）。

本校のみのり学級は、今年度は高谷中と合同で、音楽発表「風になれ ふるさと」を行いました。生徒たちは、10月の合唱祭、11月の期末試験・校外学習などの活動と並行して、一生懸命練習に取り組んできました（舞台リハーサルも行う熱の入れようです）。

みのり学級の生徒が、練習の成果を発揮し、自分をのびのびと表現する姿に感動しました。素晴らしい合唱とパフォーマンスに、心より拍手!!（終了後の皆さんの笑顔も素敵でした♪）

